

事業報告書

事業期間

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

本部

母子父子福祉センター

ゆたか保育園

わかば保育園

売店

令和4年度 社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会 事業報告書

【本 部】

1. 事業報告

(1) 会議

- ① 運営会議 (定例) 年間4回開催 R4.4.13/R4.6.8/R4.10.13/
R4.12.14
(臨時) 2回開催 R5.1.18/ R5.3.8
- ② 理事会・評議員会・監査 評議員会：R4.6.27/R5.3.13 (2回)
理 事 会：R4.6.9/R5.3.1 (2回)
監 査：R4.5.13/R4.5.27 (2回)

(2) 生活支援事業

- ・ ひとり親家庭等日常生活支援事業 (豊中市からの委託事業)

(3) 広報活動事業

- ① パンフレット配布等 随時
- ② 事業案内発行 随時
- ③ 「大阪ぼしれん」配布 年4回 (5月・8月・11月・1月)
- ④ ホームページの更新 随時

(4) 母子及び寡婦福祉法第25条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- ① 市立豊中病院内売店事業 「ローソン市立豊中病院店」の経営
- ② 飲料水自動販売機事業 市内7箇所 (7台) 販売手数料：937,469円
- ※上記で得た収入は、交流事業費等に充当した。

(5) 会員自主事業

- ① 趣味の講座 ペン習字 (毎月第1・第3金曜日) 年間参加人数 189名
編 み 物 (毎月第2・第4火曜日) 年間参加人数 78名
- ② ハイキング同好会は年2回実施した。カラオケ同好会、母子部サークルは開催

を見合わせた。

(6) 会員の交流活動

	事業名	事業内容
	(1) クラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・色紙に自分でレイアウトした押し花を貼り付け、壁に飾れるようにリボン付けをした。参加者同士楽しい時間を共有した。参加者 (14名) 4/13 (水)
	(2) 健康体操	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を迎え、座った状態でできるストレッチなど、其々自己のペースで音楽に合わせて身体を動かした。参加者 (12名) 6/8 (水)
	(3) ランチ・ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・ニフレルを見学し、ランチビュッフェを楽しんだ後、万博記念公園をハイキングしながら参加者同士の交流を図った。参加者 (21名) 10/13 (木)
	(4) クリスマス会	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の予定など寡婦さん同士でおしゃべりをし、楽しいクリスマスのひとつを過ごした。参加者 (13名) 12/14 (水)
	(5) 茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい年を迎えた喜びを分かち合い、お正月の様子などを語り合い参加者同士交流を図った。参加者 (14名) 1/18 (水)
	(6) クラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・柄のないボールペンに好みのデザイン用紙を巻き込みオリジナルボールペン作りを楽しんだ。参加者 (15名) 3/8 (水)
	(1) 春風亭一之輔独演会	<ul style="list-style-type: none"> ・古典にも創意工夫を織り込む人気実力派落語家の独創的な高座を堪能する。参加者 (39名) 9/7 (火)
	(2) ラトヴィア放送合唱団	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的に優れた音楽家を輩出しているラトヴィアの頂点に君臨している合唱団の透明感あふれる美声に聴き惚れる。参加者 (26人) 10/23 (日)
	(3) こどもおとなクラシック！2023	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイコフスキーの名曲を作曲家のお話とともに、こどもも大人も一緒に楽しむ。参加者 (14名) 3/4 ((土)
	(4) 豊中名曲 Vol.22 忘れられた怒り	<ul style="list-style-type: none"> ・パンドミシックにより変化する時代に揺れ動かされた様々な「感情」の音色を、珠玉の演奏で感じ楽しむ。参加者 (25名) 6/26 (土)

文化芸術センター・日本センチュリー招待の

音楽と観劇		
(5)	豊中名曲 Vol. 23 夜、でしゃばる悲哀	・若き指揮者とヴァイオリニストが奏でる、静かに漂う悲哀の感情と包み込む穏やかな光の世界を堪能する。 参加者 (24 人) 10/29 (土)
(6)	豊中名曲 Vol. 24 修復する歓喜	・ベートーヴェン交響曲「第九」。困難を乗り越えようとする人間の生き様、力強い合唱を楽しむ。 参加者 (24 人) 12/11 (日)
(7)	豊中名曲 Vol. 25 100 年後の楽しみ	・100 年前の人々が描いた 100 年後の未来と、新たな 100 年を、新時代ピアノニストが奏でる心地よい音色を楽しむ。 参加者 (14 人) 3/18 (土)

※新型コロナウイルス感染症拡大により、バスツアーは実施を中止した。

(7) 相談事業

- ・子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。(離婚前相談にも対応)

(8) その他

- ・豊中市から委託を受けて、「豊中市養育費確保のための弁護士費用補助金事業」の補助金案内、受付等の事務事業を行った。

2. 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

- ◇ 皓養社奨学金 6/11 (土) 12 名授与される。年額：6 万円

令和4年度豊中市立母子父子福祉センター 事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業名	事業内容
<p>介護職員初任者研修</p>	<p>5/8～8/14 (月) 15回 定員 9人 受講者 9人 受講者合計135人 修了試験受講者数 9人 資格修了証認定者数 9人</p>
<p>事務職をめざすための 日商簿記3級検定対策講 座</p>	<p>9/4～11/20 (日) 23回 定員 9人 受講者 6人 受講者合計124人 検定試験申込者数 6人 受験者数 6人 合格者数 2人</p>
<p>ビジネスパソコン 基礎講座</p>	<p>10/6～12/8 (木) 9回 定員8人 受講者8人 受講者合計64人 ワークロ検定試験申込者 7人 受験者数 7人 合格者数 5人 表計算検定試験申込者 5人 受験者数 5人 合格者数 5人</p>
<p>医科医療事務3級 検定講座</p>	<p>1/8～3/12 (日) 19回 定員9人 受講者 7人 受講者合計 108人 検定試験申込者 7人 受験者数 4人 合格者数 4人</p>
<p>学習支援教室 ひとり親家庭 学習支援教室</p>	<p>4/9～3/25 毎週 (土) 【4月第1土曜日・休館日・日祝除く】 年間総授業数54回 (通常48回 夏季3回 冬季3回) 年間総出席者数 中学生426人 高校生153人 合計579人</p> <p>※夏季講習 8/17(水)・8/18(木)・8/19 (金) 計3回 出席者数 中学生17人 高校生7人 合計24人 ※冬季講習 12/26 (月)・12/27 (火)・1/5 (木) 計3回 出席者数 中学生17人 高校生3人 合計20人</p> <p>建て替えに伴い地域共生センターの2部屋での実施となる学習会。一人ひとりのレベルに合った勉強方法や対策を指導し、計画的に学習することができた。定期テスト前になると学校の課題を持参し熱心に問題を解く姿がみられ、他の生徒が意欲的に集中しているのを見て頑張ろうと取り組む生徒もいた。話をすることが苦手な生徒も、講師に学校の様子や進路について相談し、コミュニケーションセッションを頂けるようになっていった。クリスマス会・お別れ会に代えて図書カードをコロナ禍で頑張っている生徒に配布した。</p>
<p>生活支援セミナー 奨学金制度説明会</p>	<p>6/26 (日) 定員10人 参加者16人 (後日資料のみ配布者2人) 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 (社福) 豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市子ども未来部 子育て給付課 貸付担当者</p>
<p>平日 (10：00～16：00)</p>	<p>年間相談件数 年間相談件数 (内男性2件) 電話135件 (内男性7件) 合計195件 面接60件</p>
<p>相談 弁護士相談 専門相談</p>	<p>年間相談件数 年間相談件数 夜間16件 上曜日23件 合計39件 年間相談件数 計28件</p>

事業名		事業内容
レクリエーション		6/5 (日) 定員60人 行き先：関西サイクルスポーツセンター 参加者：親(母) 26人・高校生3人・中学生3人・小学生18人・幼児7人 合計57人参加 応募人数は定員を大きく上回り、バスツアー人気の高さを実感した。今回は参加者全員に黄色いバンダナを配布し目立つところに巻き、同じバンダナの人に声を掛け合うことで、コロナ禍でも参加者同士の交流を図れるよう工夫した。自転車をメインとしたツアーパークで広い園内を移動するだけでも運動量が多く、身体を使うアクティブな親子で楽しむ姿が見られた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、懇食ではあったが一堂に会し昼食をとった。ひとり親家庭同士の交流を図ることができ、充実した一日を過ごすことができた。
夏休み工作	親子で楽しい ア fantasia クリスマス 会	7/31 (日) 定員20人 参加者：父母7人 子ども10人 合計17人 内容：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、フェイスガードを着せ守りながら、ドリウムキヤッチャー作りを楽しんだ。子どももわせて難易度をわけ、親子で協力しながら素敵な作品を仕上げた。交流会は、ひとり親家庭ならではの悩みを話したり共有したりすることができた。
研修	母子相談員研修 人権研修 消防訓練 講習会	12/11 (日) 定員45人 親19人・子ども23人 合計42人参加 今年のクリスマス会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、フェイスダンスを守りながらも、3年ぶりに一堂に会した。最初に愉快でおかしなクラウンデューのショーを鑑賞した。音楽に合わせて手拍子で盛り上がり会場が突い声であふれた。花柄のシールを子どもの手形に沿って透明なフオートフレームに貼り付ける工作は、成長記録として思いい出になる作品になった。続いてビンゴゲームで楽しんだ後は、サンタクロースの登場に驚きながらも質問をしたリブレゼントをもらったり子どもたち大喜び。ひとり親家庭同士の交流を図る楽しい時間となった。
安全管理		消防訓練年2回実施 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施

※新型コロナウイルス感染症の影響

1、参加者、利用者の状況

- ①、就労支援講座
4つの講座とも例年の定員のほぼ半数の参加者で実施した。
- ②、学習支援教室
オンライン学習は止め通常教室とし、3室を避けて2部屋で実施した。
- ③、レクリエーション
バスツアー、夏休み工作、クリスマス会は募集定員を減らしたり3密を避け、人との距離に余裕をもたせた形で実施した。

2、指定管理者に求められるサービス水準

- ①、事業利用者延人数
確保すべきサービス水準
4年度実績
1,000人
1,142人
- ②、相談件数
262人

令和4年度 ゆたか保育園事業報告書

1. 保育の理念と方針

当園の『保育の内容に関する全体的な計画』にのっとり、

子どもたちの美しい心を育む
健やかなからだを育む
豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようにしていた。

保護者に安心していただけるような支援に努め、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に、話をする場も設けた。家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていった。

2. クラス別保育方針

○ 0 歳児クラス：4 月当初は 2 名だったため、5 月から 1 歳児で月齢が低い園児 2 (8 か月から) 名が同じ保育室で生活することとなる。異年齢ではあるが、発達の特徴と違いを踏まえ毎日を共にすることができた。

11 月からは 0 歳児の新入児が増えて 6 名で生活することとなった。新入児はもちろんのこと継続の子どもたち一人ひとりに愛情豊かに関わることで、愛着関係を深め着替えや食事、睡眠等の生活の基盤を整えることができ、好きな遊びを集中して遊びこむ姿も見受けられた。

1 階クラスだけでなく階段や「くもの上広場」等で、身体を動かす遊びも十分楽しんだ。

○ 1 歳児クラス：11 月までは低月齢の子ども 2 名が 0 歳児クラスで過ごしていたため 1 歳児のお部屋では 10 名で生活していた。一人ひとりに丁寧に関わること子どもたちの安心感につながっていた。

11 月から 1 歳児 12 名が一緒に生活することとなり 3 名の保育者の中

で、子どもたちの発達に応じてのグループ替えを行った。自分でできることは自分でしようとする姿も増え、できない時は、言葉で伝えようとする姿も増えてきた。

玩具は子どもたちの興味に合わせ定期的に入れ替えを行うことで、友だちが遊んでいる姿を見て真似をしたりして遊びが広がってきた。

「くもの上広場」を活用したり、ホールに滑り台や鉄棒、跳び箱などを出し身体を使う遊びを楽しんだ。

- 2 歳児クラス：自発的な活動ができるように見守り、尊重する言葉がけの中で自分のことは自分でしようとする姿が多く出てきた。

またできた時は大いに褒めて次につなげるようにした。

集団遊びも多く取り入れ一緒に遊ぶ楽しさや簡単なルールを知る事ができた。

2階テラスでは、三輪車に乗ったり、平均台やフープなど身体を使う遊びを楽しんだ

- 3 歳児クラス：朝の集会時にその日の活動を丁寧に伝えることで自発的な行動につなげていった。個々の発達を踏まえながら丁寧に関わる中で良い事、悪い事を伝えていった。

室内遊びでは、子どもたちの興味に合わせて玩具の入れ替えを行い、ボードゲームやカードゲームなど友だちや保育者と楽しむことができた。様々な活動を通して自分以外の人と親しみ、関わりを深め、協力して一緒に生活する楽しさを少しずつ味わえるようになった。

- 4 歳児クラス：保育者の見守りの中、生活面、活動を通して自分で出きる事が増え自信につながった。朝の会や終わりの会等では保育者の話を最後まで聞くことができるようになった。まだ自分の思いを優先する事も多いが、相手の思いを聞こうとする姿が増え自分たちで解決する力もついてきた。
菜園活動やクッキングを通し、食への興味も広がった。

- 5 歳児クラス：保育者の見守りの中見通しをもって行動することができるようになった。

ふれあいカーニバル、デイキャンプ、生活発表会等様々な行事を経験する中で話し合っで進めることができるようになり、目標にむかって友だちと一緒に活動する中で励ましあったり、喜び合ったりするようになった。また自分に自信を持てるようになった。
菜園活動やクッキングを通して、食への興味も広がった。

○ 夏遊び：今年度からプール遊びはなくなった。その代替えとして夏ならではの遊びを各クラスで充実させた。(水遊び・色水遊び等)
また今年度は、その様子を動画配信した。

○ 縦割り活動(3・4・5 歳児)
週に 1 回縦割り活動の日を設け 3 グループに別れて活動した。
保育者の言葉がけがなくても自らペアの子を探したり、困っている子に声をかけたりにするようになった。
大きいクラスの子は、小さい子にやさしく接し、小さいクラスの子は、大きい子にあげがれを持ち、子どもたちのかかわりを深めることができた。

3. クラス編成 児童定員 79 名

令和 4 年 (2022 年) 4 月 1 日

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
実数	11 名	16 名	17 名	12 名	9 名	2 名	67 名
内障がい児	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名

令和 5 年 (2023 年) 3 月 31 日

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
実数	13 名	17 名	19 名	12 名	12 名	6 名	79 名
内障がい児	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名

4. 職員配置 (R5 年 3 月)

園長 (1) 主任保育士 (1) 保育士 (12) 時短保育士 (1) 看護師 (1)

非常勤保育士 (1) 朝・夕・土曜日パート保育士 (3) 用務 (1)・・・21名
産休育休 (2)

嘱託医【内科・歯科・眼科・耳鼻科】 (4) 委託調理師・調理員 (3) 委託栄養士 (1)

5. 保護者への支援

- ・3年間の新型コロナウイルス感染症拡大防止生活の中で、日々の生活や仕事に不安をかかえている保護者に対して、話を聞き気持は十分受けとめていった。
- ・子どものかかわり方について保護者と共に園生活、家庭生活の見直しができるよう個人懇談を行い、豊中市児童発達支援センター「つぼみ」や子ども事業課とも連携し、子どもが生活しやすい環境を試行錯誤していった。
- ・保護者からのけがの対応や保育体制についての意見・苦情を受けて、豊中市子ども事業課の仲介の元、保護者と話し合いを行った。けがの時の対応の仕方を職員全体で再確認した。

6. 地域交流事業

毎週月木の9時50分からラジオ体操を行い、地域の高齢者の方々と顔なじみになった。

ゆたか保育園、保護者会、自治会の協賛で桜塚公園を借りて「ゆたかまつり」を行い、保護者の方々のゲームや夜店を楽しみふれあいカーニバルで、地域の未就学児や近隣の小規模保育園の園児・高齢者の方に参加してもらった。

2階相談室・会議室においてスイトピー ベビーマツサーズ、足育をおこなった。

連携施設である豊中かなで保育園の園児をふれあいカーニバル(運動会)にも招待し交流を深めた。

7. 職員育成と研修計画

豊中市子ども財団のオンライン研修を積極的に受講した。

また、対面での主任交流会やミドル職員交流会に参加し他園の職員と交流することにより実のあるものとなった。

キャリアアップ研修もオンライン形式で3名が受講し、担当分野の知識を高めることができた。

豊中市の「環境ガイドライン」を活用し職員全体でチェックすることにより、各クラス的环境をより良いものにすることができた。

「保育のための人権セルフチェック」を活用し子どもに対する言葉かけや関わり方を再度見直し職員全体で話し合った。

保育実習・・・京都西山短期大学 1年生 1名

令和4年8月17日(水)～8月30日(火)

実習生を指導する事により、指導する立場の保育士の振り返りともなった。

8. 運営管理

・運営委員会 7/4 令和3年度事業報告・収支決算報告

3/27 令和5年度事業報告・収支予算

・施設会議 月1回 定例会議 各施設の現状や課題を話し合った。

・苦情解決委員会 12/22 保護者からの苦情について助言をいただく

3/26 令和5年度からお願ひする苦情解決委員の会合を開いた。

・職員会議 月1回 18:30～ 対面で行い職員間の共通認識を深めた

・障がい児担当者会議・乳児会議・幼児会議 月1回

保育内容や行事について話し合いそれぞれの課題共有とし保育を行うことができた。

・保健会議 月1回

保健、衛生に関することを看護師中心に話し合い、知識を高めていった。

・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。

・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った。

・食育会議 月1回

→富士の調理師、栄養士と意見を交換し、安全・安心な食事の充実を図っていた。

9. 給食 一富士フードサービス株式会社に委託した。

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

・安心安全な食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供を行った。
・アレルギー対応については、アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師記入による「生活管理指導表」を基に行った。月1回保護者とのアレルギー面談を行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図った。
翌日の給食のメニューは、前日にアレルギーミーティング(保育士・看護師・調理師)を行い、当日には、調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に

貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていた。

- ・保護者への情報提供として給食だよりを発行した。
- ・子どもの人気メニューのレシピを作成して保護者に知らせた。
- ・窓ガラスから調理室内が見えるため、園児が調理さんに声をかける場面も増えた。

10. 保健

- ・発育測定 毎月1回
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回
- ・歯科検診 年1回
- ・眼科検診、視力検査 幼児年1回
- ・耳鼻科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・職員健康診断 年1回
- ・室温、湿度の管理や外気温や暑さ指数に合わせて戸外遊びなども調整した。
- ・玩具の消毒や換気を行った。

11. 環境整備

- ・施設安全点検（月1回）で危険個所などを確認し、不備があれば改善した。
すみれ組網戸・調理室ダクト・事務所、調理室網戸
- ・園周辺の側溝の掃除は、週に1回及び随時行った。
- ・園周辺にヤスデが大量発生したため業者に駆除の薬を散布してもらった。
- ・園内大掃除で窓・網戸・エアコン・空気清浄機・シーリングファン等の掃除を行い、手の届かない3階窓は、業者に依頼し清掃してもらった。
- ・2階テラスの木床は、定期的にサンダーでやすりをかけ、とげの防止に努めた。

12. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。
- ・総合避難訓練（11/4）近隣住民・法人本部・地域共生センターと合同で行った。
- ・消火器の使い方の把握や再確認のため毎月職員が消火訓練を行った。
- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。（1/17・1/20）

- ・毎月末安全点検（各クラス、施設全体）を行い危険箇所がないか点検するとともに日々の環境整備も心掛けた。
- ・ヒヤリハット報告（51件）
 - ・園舎玄関や公園、保育室からの飛出し・友だちへの嘔みつき、ひっかき
 - ・廊下や保育室にお菓子、小さい玩具、ねじくぎが落ちていた・ロの中に砂利をいれていたなど、これらは、未然に防ぐことのできる事例が多いので、全職員で情報共有して今後につなげた。
- ・病院受診のけが（3件）
 - ・手洗いの踏み台に登り損ね手洗い場の淵の部分で口と顎を打ち、口内を切る
 - ・床に置いてあるかごにあたり前歯がゆがむ
 - ・公園で砂が目に入った
- ・保護者、職員に対して新型コロナウイルス感染症関連の情報をじモバイルメールの発信を行った。

13. 新型コロナウイルス感染症防止対策

- 4月 園児や保護者の感染が増える。
4/18・19 こすもす組クラス閉鎖
5/11PM・12・13 ばら組クラス閉鎖
8/24PM・25・26・27 こすもす・ひまわり・ばら・ゆり組クラス閉鎖
 - 8月 職員や職員の家族も多数（5名）感染
- その後、2023年1月頃までは職員家族、園児、園児家族共に感染者はみられた。

○保育中の感染防止対策

- ・園児、保護者共に園内に入る時は、玄関外にある手洗い場で手を洗い消毒を行った。
 - ・登園時の健康観察（検温・風邪症状などの有無）を行い37.5度以上の発熱、強い風邪症状がみられる場合は家庭保育を依頼し、38度以上の発熱の場合解熱してから24時間の自宅療養を依頼した。
 - ・施設内の共有部分や保育室、玩具の消毒を行った。
 - ・幼児クラスは全員同じ方向を向いて食事をした。
 - ・対角線上の窓やドアを常時10cm程開け風の流れができるようにした。
- また豊中市保健所職員に空気の測定をしてもらい換気の仕方等の指導を受けた。
- ・大阪府からの抗原定量検査キットを園児に対し配布した。
 - ・園児（3歳児クラス以上）には、希望する場合はマスクの着用を認めているが着用者はほとんどいない。

○職員の感染防止対策

- ・職員は常時マスク着用（一人での作業時はマスクを外す事も可）手洗いの徹底、出勤前の検温等健康状態の管理を行い、いつもと違う体調の場合は出勤を控えた。
- ・職員の給食やおやつは子どもとは別の時間に食べた。
- ・会議等は、人数を制限しながら換気を十分にしていた。
- ・宅配便などの受け渡しは事務所の窓や玄関等限られた場所で行った。園内に入る場合は、手洗い、検温をして入ってもらうように依頼し、外来者名簿に記入してもらった。

○保育内容・体制

- ・クラス閉鎖、利用者の限定、登園自粛、保育時間等は豊中市と連携し、保護者にJモバイルメールやお知らせの手紙で正確な情報を伝え、保護者の理解を得るとともに家庭での協力をお願いした。
- ・日曜日・祝日・年末年始等の保育園休園日における保護者からの緊急連絡対応として、職員が園の携帯電話を持ち帰った。
- ・園行事は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み
 - 戸外での行事（敬老の集い・ゆたかまつり・ふれあいカーニバル・もちつき）園内での行事（入園進級を祝う会・保育参観・体操参観・和太鼓参観・おたのしみ会・生活発表会・卒園式）は人数制限を行なった。

14.新園舎の開設

吹き抜けがあることにより、全体を見渡せることができ、明るいうかが上へ下へと広がり、いつも繋がっていて子どもたちの様子がよくわかった。

生活の場である保育空間の中、乳児はサーキット、幼児は体操教室や和太鼓、その他の行事等でホールや2階テラスを工夫して使用していた。

ネット遊具や1階テラスは、雨の日でも大いに活用することができた。

また、子育て相談室をスイトピーで地域の方々に開放した。

2階建てで道路に面していることにより地域の方々にも保育園があるということを認識していただけようになり、子どもたちへも声をかけていただくことも多くなった。

周辺住民の方々への配慮として、害虫駆除、厨房からの臭い問題についても対処した。

令和4年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会
ゆたか保育園

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝う会	新人・在園全ての親子で入園進級を祝った(クラスごとにおかれて)
	11	遠足(幼児クラス)	萩の寺公園で遊び、園内で弁当を食べた
	19	歯科検診(全児)	嘱託歯科医 中西Drにより行った
5	23	クラス懇談会0,5歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	25	クラス懇談会2歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	26	クラス懇談会3歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	27	クラス懇談会4歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	31	クラス懇談会1歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
6		サイトピー(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
	1	尿検査(4,5歳児)	貸切バスで伊丹スカイパークに行き、遊んで弁当を食べた
	7	バス遠足(4,5歳児)	貸切バスで伊丹スカイパークに行き、遊んで弁当を食べた
	13~24	個人懇談週間(乳児クラス)	子どもの家庭での様子や悩み事、園での様子や成長を話し合った
7	14	健康診断(全児)	嘱託内科医 島越Drにより行った
	23	耳鼻科検診(幼児クラス)	嘱託耳鼻科医 こうづきDrにより行った
	27~30	個人懇談週間(幼児クラス)	子どもの家庭での様子や悩み事、園での様子や成長を話し合った
8	29	保育参観(乳児クラス) 体操教室参観(幼児クラス)	子どもの家庭での様子や悩み事、園での様子や成長を話し合った
		サイトピー(地域交流事業)	子どもや園内にチラシやタリウムを作り、ついでには幼児クラスのみで行った
	24, 31	サイトピー(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
9	7	遠足(幼児クラス)	大門公園で遊び、園内で弁当を食べた
	20	健康診断(乳児クラス)	嘱託内科医 島越Drにより行った
		おじいちゃん・おばあちゃんとおそぼう(世代間交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
10	7	サイトピー(地域交流事業)	地域の親子5組が参加し、ベヒーローツサージの連続講座を行った
	17	ゆたかまつり(保護者会・自治会・保育園協賛)	桜塚公園でお祭りをし、けんぽしゅーや和太鼓演奏(5歳児)を行った
	29	おじいちゃん・おばあちゃんとおそぼう(世代間交流事業)	桜塚公園で地域の高齢者とラジオ体操や玉入れを楽しんだ後、和太鼓演奏(5歳児)を行った
11	13	芋掘り遠足(マゼイカルホームくらら桃山台ベネッセの畑)	貸切バスを利用し、3,4,5歳児が芋掘り体験をした
	20	眼科検診, 視力検査(幼児クラス)	嘱託眼科医 高島Drにより行った
	27	ふれあいカーニバル(地域, 世代間交流事業)	地域の親子・高齢者向けのプログラムを取り入れ、子どもたちの成長を喜び合った
12	19, 26	サイトピー(地域交流事業)	地域の親子5組が参加し、ベヒーローツサージの連続講座を行った
		地域職場体験学習受け入れ	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

	4	総合避難訓練	本部、地域共生センター、地域の方と一緒に実施
	8	遠足 (幼児クラス)	大曽公園で遊び、弁当を食べた
	8, 9	保育参観 (乳児クラス)	園での様子を見てもらった (人数制限あり)
11	19	ゼイキヤソング (5歳児)	貸切バスで万博記念公園に行ったり、クッキングや園内探検を楽しんだ
	25～12/1	作品展	各クラスでまつりをテーマに作品を作り、保護者に見てもらった
	9, 10, 11	聴力検査 (幼児クラス)	看護師により行った
	2, 30	スイトピー (地域交流事業)	ベビーマッサージ (地域の親子5組)、足音 (地域の親子4組)を行った
	2	和太鼓参観 (4, 5歳児)	講師による和太鼓の練習を見てもらった (人数制限あり)
	1, 6, 12	クッキング (幼児クラス)	個々ですり鉢とすりこ木を使い、もち作りを楽しんだ
	7	バス遠足 (幼児クラス)	貸切バスで伊丹スカイパークに行き、遊んで弁当を食べた
	7～27	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、園での様子や成長を話し合った
	14	もちつき会	幼児クラスはもちつきの経験をし、乳児クラスは見学した
12	22	おたのしみ会	いちご劇場さんによるパネルシアターショーを楽しんだ
	21	健康診断 (全児)	嘱託内科医 島越Drにより行った
		スイトピー (地域交流事業)	感染症拡大防止の為中止
		スイトピー (地域交流事業)	感染症拡大防止の為中止
1	6	お正月遊びを楽しもう	各クラスで舂揚げや羽根つきを楽しんだ
	12	遠足 (幼児)	人曽公園で遊び、園内で弁当を食べた
		スイトピー (地域交流事業)	感染症拡大防止の為中止
	16, 22	入学体験 (南桜塚小学校, 桜塚小学校)	5歳児がわかれて参加した
	16	クラス懇談会0, 5歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	17	クラス懇談会1歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	18	生活発表会 (幼児クラス)	1年間を通じて経験したことを楽しく表現した (人数制限あり)
2	20	クラス懇談会2歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	21	クラス懇談会3歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
	22	クラス懇談会4歳児クラス	園での様子を伝え、保護者同士の交流の場を設けた
		スイトピー (地域交流事業)	感染症拡大防止の為中止
	2	お別れ遠足 (幼児クラス)	緑地公園で遊び、弁当を食べた
	10	健康診断 (乳児, 新入園児) 入園説明会	嘱託内科医 島越Drにより行い、2階会議室で説明会を行った
3	25	卒園式	卒園した喜びを分かち合える式となった (人数制限あり)
	1, 8, 15	スイトピー (地域交流事業)	地域の親子5組が参加し、ベビーマッサージの連続講座を行った

※年間を通して毎月の行事

- 誕生会 (毎月第3火曜日) 給食は誕生会メニュー
- 発育測定 (身長・体重・胸囲)、衛生検査 (頭シラミ、手足の爪の検査)
- 避難訓練、消火訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検
- 4・5歳児・・・・・・月1回和太鼓の稽古
- 3・4・5歳児・・・・月2回体操教室
- 園見学 (月～金) コロナウイルス感染症拡大防止の為中止期間あり
- その他個人懇談、育児相談は随時

令和4年度 わかば保育園事業報告書

1. 保育の理念と方針

当園の全体的な計画にのっとり、子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指すため保育の中で工夫や一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員全員で考え、実践していくようにした。

多様な保護者に安心していただけるように支援にも努力し、外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり安心しあえる関係を築いていった。

また、日々の園児の様子や保育内容がどんなことを大切に行っているかを保護者に理解して頂くために、その日のお便りをドキュメンテーション型（写真、コメント入り）の記録とし、掲示した。家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていった。

2. クラス別保育方針は次の通り

○ 0歳児クラス：発達の特徴と違いを踏まえ、愛情豊かに応答的な関わりの中で（8か月から）信頼関係を築き、人と関わる力の基盤を培える保育を工夫した。生理的・心理的欲求を満たし、食の基盤となる時期での食べる喜びや楽しさを味わい、養護における生命の保持、情緒の安定を図った。

○ 1歳児クラス：保育者の愛情豊かな受容の下で全身を使う遊びと休息、食事・排泄・午睡等安心できる生活のリズムをつくり、自分でしようとする気持ちを持てるようにし、応答的な触れ合いや言葉がけによって欲求が満たされ、安定感をもって過ごせるようにした。

○ 2歳児クラス：子どもが自分の感情や気持ちに気づき、自発的な活動ができるように見守り尊重する言葉がけをした。友だちの存在を認め、言

業に対する感覚や表現する力を養い、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動できるようにした。

- 3 歳児クラス： 基本的な生活習慣を身に付け明るく伸び伸びと行動し、体を十分に動かし、食べ物への興味や関心をもち、自分以外の人と親しみ、関わりを深め、協力して一緒に生活する楽しさを味わえるようにした。

- 4 歳児クラス： 生活の中で自分で出来ることに喜びを持ちながら、友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づき聴いたりできるようにした。色々な活動や自然の事象に好奇心や探究心を持ち、保育者や友だちと一緒に関わりを深めることができるようにした。

- 5 歳児クラス： 自分以外の人々と親しみ、生活を楽しみ、自分の力で見通しを持ち考えながら行動できるようにした。良いことや悪いことがあることに気づき、自然の事象、文化や伝統に興味を持ち、豊かな感情、思考力、表現力の基礎が培われるような保育をするようにした。

3. 児童定員 60名

令和 4 (2022) 年 4 月 1 日 児童数 (弾力化) 71名

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数(実数)	12	13	15	12	13	6	71
内障がい児	2	0	1	2	0	0	5

令和 5 (2023) 年 3 月 31 日 児童数 (弾力化) 71名

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数(実数)	12	12	15	12	14	6	71
内障がい児	2	0	2	4	0	0	8

4. 職員配置

園長 (1) 主任保育士 (1) 主任補佐 (1) 常勤保育士 (12) 非常勤保育士 (6)
事務員 (1) 看護師 (1) 朝・夕パート (2) 用務 (高齢者雇用) (2)
時短 1名・・・28名
嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】(4) 委託調理師・調理員 (3) 委託栄養士 (1)

5. 保護者への支援

- ・スマイルサポーターを中心に育児や家庭の悩みの相談をうけ、日頃から保護者の顔色、子どもへの言葉かけや振る舞いを視診時によく観察し、声をかけ保護者の負担を軽減できるよう支援した。
- ・欠席が続く園児の家庭には電話連絡をして所在確認、登園を促し、豊中市子ども家庭相談係と連携して情報を共有し支援を行った。
- ・発達気になる子どもの保育を考慮し、集団での生活の中で困難さに寄り添い、関わりに配慮を行うなど、園生活での様子を保護者に伝え一緒に成長を見守れるようにした。必要に応じて関係機関にも繋げるようにした。

6. 地域交流事業

- ・わくわくサークル (未就園児対象)、園庭開放は新型コロナウイルス感染症状況を踏まえて実施の可否を判断し、中止の時はホームページでお知らせした。
- ・わかばまつりには4部制で人数制限をして密集を避けて行った。園児、地域の親子が参加し交流を持った。
- ・ベビーマッサージ講習会 9/22、11/24に人数制限と感染症への対策を行いながら開催し地域の親子が参加し交流を持つ場を提供した。

7. 職員育成と研修計画

- ・乳児ミーティング、幼児ミーティング、各クラスカリキュラム会議を行い、保育マップの作成に取り組み、語り合いの中で保育の振り返りや質の向上を図った。
- ・オンライン研修や参加型研修で保育士としての資質向上を図るようにした。
- ・キャリアアップ研修を受講し、リーダーとしての資質向上を目指し、人材育成へとつなげていった。

8. 運営管理

運営委員会 (年2)、職員会議 (月1)、保育会議 (月1)、乳児・幼児ミーティング (週1)、各クラスカリキュラム会議 (月1) 食育会議 (月1) 施設会議 (月1)、苦情解決委員会 (年1) を開催し、それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園

の定員数、職員数の見直し、運営の充実のための検討を重ねていった。

9. 給食 一富士フーズサービス株式会社 に委託する

- ・委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行った。日々の喫食状況や疑問点など食育会議で伝達し、調理師、調理員にも各クラスへの分配量など細かいことを伝達するようにした。
- ・アレルギー対応については、アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和によりアレルギーメニューを再度行い、委託業者とともに複数回チェックを行うなど、誤食の事故を防ぐための対応を図った。
- ・アレルギー食には青色ラップをし、ピンクのアレルギー児用食器とワゴンを用い、おかわりの際などの誤食をよりなくすようにした。
- ・月献立などはホームページに掲載し、保護者に確認してもらうようにした。

10. 保健

- 発育測定 毎月 1 回
- 内科健診 乳児 年 4 回 幼児 年 2 回
- 歯科検診 年 1 回
- 眼科検診 視力検査 幼児 年 1 回
- 耳鼻科検診 幼児 年 1 回
- 尿検査 4, 5 歳児 年 1 回
- 職員検便 月 1 回
- 職員健康診断 年 1 回
- ・看護師による手洗い指導や身体のしくみについての話を聞くなどして園児自身が感染予防やからだの大切さについて知ることができるようにした。
- ・園内清掃、施設内消毒やおもちや消毒を行った。

11. 環境整備

- ・施設安全点検を月に 1 回行い、危険個所の改善、修繕を行った。
- ・園庭の花・樹木の選定、植え替え、砂場の砂の補充を行った。
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい、除草を行った。

12. 防災・防犯・安全管理

- ・防災訓練を月1回実施し、火災、地震、浸水、竜巻を想定して防災頭巾を着用することに慣れ、避難を行えるように訓練した。
- ・職員が消火訓練を行い機器の操作の把握、確認を行った。
- ・防災備品の点検と交換を行い、非常食の試食をした。
- ・ヒヤリハット報告(12件)
情報を共有し、ケガや事故につながらないように改善に努めた。
- ・Jモバイルメール配信により、コロナウイルス感染症に関する情報の提供近隣で発生した不審者や切り付け事件の注意喚起を行った。

13. 新型コロナウイルス感染症防止対策

- 感染症対策(換気、施設内の消毒)を行いながら通常保育を行った。各家庭にはJモバイル配信により体調不良時の家庭保育の協力依頼やPCR検査受検状況などの情報提供を行った。
- ・8/6～8/10 0, 1歳児クラス閉鎖
- ・11月、12月 ワクチン4回目接種(希望の職員のみ)

保育現場での新型コロナウイルス感染症防止対策

- ・新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを見直し、豊中市からの最新の情報とともに職員に周知、再確認を行い情報の共有に努めた。
- ・保護者へ豊中市からの新型コロナウイルス感染症対策の情報を提供し共有するようにして、感染防止への意識が薄れないようにした。最新の情報提供によりマスク着用の有無について個人の判断としていった。
- ・園児登園完了後、施設内(通用門・玄関・保育室・階段手すり・トイレ等)、遊具や絵本の消毒を行った。また、クラスの玩具などは随時クラスごとに保育士が消毒を行った。新型コロナウイルス感染症対策補助金により紫外線・オゾン除菌BOXを増加、消毒作業の効率化を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策補助金により空気清浄機を増加、施設内エアコンの清掃を行い環境整備に努めた。
- ・職員にマスクを配布し、毎日の健康管理を行うためにパルスオキシメーターで酸素濃度を測り、検温、健康管理表(倦怠感・息苦しさ・味覚、嗅覚異常・風邪症状・下痢などの有無)にチェックするようにした。
- ・給食時は園児が向かい合って食事することを避け、一定方向を向いて食事をするように机、いすの配置を考え感染防止対策をとった。
- ・通常保育を行いながら園児の検温や健康観察を行い、保護者と情報共有し、風邪症状がある場合は家庭保育の協力の依頼を行い感染拡大防止に努めた。

令和 4年度 行事報告

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

月	日	行 事 名	行 事 内 容
4	1日	入園・進級を祝う会 新入児慣らし保育	コロナウイルス感染症対策のため各クラスで行う
	1日	クラス懇談会 (0歳児クラス)	保護者と担任で1年間の保育園生活について話をした
4	4日	クラス懇談会 (1歳児クラス)	
	5日	クラス懇談会 (2歳児クラス)	
	6日	クラス懇談会 (3歳児クラス)	
	7日	クラス懇談会 (4歳児クラス)	
	8日	クラス懇談会 (5歳児クラス)	
	13日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被って園庭に避難した
	9日	避難訓練 (火災)	午睡中の避難についてシミュレーションを行った
5	17日	防犯訓練 手洗いうがい指導	紙芝居をみて不審者について話を聞いた 看護師から手洗いうがいの指導を受けた
	23日	全児歯科検診 (3歳児5/31) (4歳児5/16) (5歳児5/30)	嘱託医 (五條歯科 清水医師)
	3日	避難訓練 (火災)	給食室からの出火を想定し稲津町1丁目広場に避難した
	6日	乳児検診 (0, 1, 2歳児) 歯磨き指導 (3歳児6/8) (4歳児6/10) (5歳児6/1)	嘱託医 (明石医院 明石先生) 看護師による歯磨き指導を受けた
6	20日	耳鼻科検診 身体の仕組みを知ろう (3歳児6/14) (4歳児6/27) (5歳児6/29)	嘱託医 (丸や耳鼻科 古谷先生) 身体人型パネルを使って看護師から話を聞き、自分の身体について学んだ
	0歳児 (6/13～6/17) 1歳児 (6/20～6/24)	午睡時間やお迎えの時間を利用して園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりした	
	2歳児 (6/6～6/10) 3歳児 (6/27～7/8)		
	4歳児 (6/27～7/8) 5歳児 (7/11～7/26)		
7	1日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被って避難し、各クラスで話をした
	2日	デイクヤソフ プール設置、プール遊び	5歳児が園内で水遊び、クッキングを楽しんだ
8	6日	避難訓練 (浸水)	浸水している写真を実際に見みながら話をした
	26日	防犯訓練 紙芝居を見て知らない人に声をかけられたときの対処について話を聞いた	
9	5日	全児健康診断	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	9日	避難訓練 (火災)	雨天のため、室内で拡声器を使って訓練した
	10日	わかばまつり	園庭にて、4部入れ替え制で行った
	22日	ベビーマッサージ教室 (地域交流)	地域の親子5組が参加し交流を楽しんだ
10		視力検査	看護師による視力検査を行った
		(3歳児10/7) (4歳児10/6) (5歳児10/14)	
	5日	芋掘り (2歳児)	中庭の畑で育てたさつま芋掘りを楽しんだ
	12日	避難訓練 (竜巻)	個々の袋で育てたさつま芋掘りを楽しんだ
	19日	芋ほり (5歳児)	園庭の畑で育てたさつま芋掘りを楽しんだ
	21日	芋ほり (3, 4歳児)	嘱託医 (もりおか眼科 森岡先生)
27日	眼科検診 (3, 4, 5歳児)	豊中市障害福祉センターひまわり体育館にて行った	
	29日	運動会 (全児)	

月	日	行 事 名	行 事 内 容
		足形とり	土踏まずの形成をみた
		手洗いうがい指導	看護師から手洗いうがいの指導を受けた
		(3歳児11/10) (4歳児11/7) (5歳児11/4)	
		身体のおしぐみを知ろう	栄養や自分の身体について、看護師から話を聞いて学んだ
		(3歳児11/29) (4歳児11/21) (5歳児11/28)	
	11日	避難訓練	火災を想定し、野田中央公園に非難した
	16日	防犯訓練	
11		個人懇談会	
		0歳児 (11/7～11/11) 1歳児 (12/19～12/23)	午睡時間やお迎えの時間を利用して園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりした
		2歳児 (11/14～11/18) 3歳児 (12/5～12/16)	
		4歳児 (12/5～12/16) 5歳児 (11/21～12/2)	
	18日	バス遠足 (3・4・5歳児)	大型バスで伊丹スカイパークに行った
	24日	ベビーマッサージ教室 (地域交流)	地域の親子5組が参加し交流を楽しんだ
		足形とり	
	5日	乳児内科健康診断(0・1・2歳児クラス)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
12	6日	避難訓練 (ガス漏れ)	ガス漏れを想定し船津町1丁目公園に避難した
	22日	クリスマス会	職員によるバンド演奏や寸劇を楽しんだ
	11日	防犯訓練	不審者侵入を想定し避難の訓練を行った
1	17日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被り避難をした
	31日	バス遠足 (3・4・5歳児)	大型バスでかんばりまめの杜に行った
	18日	発表会 (3, 4, 5歳児)	インフルエンザ流行のため中止。後日配信となる。
2	20日	避難訓練 (漏電)	午睡後漏電を設定し避難をした
		ビデオ配信	
		乳児クラス (0, 1, 2歳児) 3/6～3/13	生活のようす (0, 1, 2歳児) 発表会のようす (3, 4, 5歳児) を動画に撮り、保護者向けに配信を行った
		幼児クラス (3, 4, 5歳児) 3/17～3/25	
		内科健康診断 (0,1,2,3,4才児)	
3	3日	新入児内科健康診断	0～4才児と令和5年度の新入児の健康診断を行った
		新入児説明、面談 (2/13～3/7)	1日1組ずつ来園してもらい説明、面談を行った
	10日	お別れ遠足 (海遊館) (4, 5歳児)	中型バスで海遊館に行った
	22日	おわかれ会	卒園児を紹介し就学に向けてお祝いをした
	24日	卒園式 予行	卒園式に向けて練習を行った
	25日	卒園式	保護者と職員で卒園を祝った

その他の行事

お誕生会 (毎月第4木曜日)・・・コロナウイルス感染症のため地域参加はなし/園児は各クラスで行った
 園庭開放 (身長・体重・胸囲)
 避難訓練・・・9/26より再開9:45～11:00
 避難訓練、消火訓練・・・毎月1回
 防犯訓練 (危機管理による)・・・年4回
 安全点 延長保育事業
 衛生検査 (毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査)
 音楽教室 (3、4、5歳児クラス)・・・アインリー講師による指導 年間12回
 体操教室 (全クラス)・・・アインリー講師による指導 年間12回

令和4年度市立豊中病院内売店(ローソン)事業報告書

1. 売店運営の展開

(1) 平成26年2月28日開設した「ローソン市立豊中病院店」は9年を経過しました。令和4年度も前年度に引き続き、令和2年1月末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、前年度に比べて概ね、売上は7%、お客様数は4%増であった。本部への繰入は、前年度より500,000円増の2,500,000円で売店運営は回復傾向で推移してきているが、依然として厳しい状況が続いています。

(2) 売上、お客様数ともに前年度に比べ、やや持ち直してきているが、元年度比で売上は約25%、お客様数は28%の減少になっています。商品の仕入れや陳列の改善などで売上増を図るとともに、引き続き人件費や廃棄処分など経費の見直しを行い、収益の増加につなげてまいります。

2. 売上高と客数の推移

		R4年度	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
売上	年間	145,334	135,292	132,560	193,546	202,090	201,858	177,246	169,340	160,462
	前年比	+7.42%	+2.06%	▲31.5%	▲4.3%	+0.11%	+3.8%	+4.6%	+5.5%	
(単位 千円)	月間	12,111	11,274	11,046	16,128	16,840	16,821	14,770	14,111	13,371
	1日	398	370	363	530	553	553	485	462	439
客数	年間	284,879	272,953	266,464	395,302	427,324	436,380	386,725	368,950	361,596
	前年比	+4.36%	+2.43%	▲32.6%	▲7.5%	▲2.1%	+2.8%	+4.8%	+4.8%	
(単位 人)	月間	23,739	22,746	22,205	32,941	35,610	36,365	32,227	30,745	30,133
	1日	780	747	730	1,083	1,170	1,195	1,059	1,008	990